

令和7年度 授業アンケート(学生による授業評価) 報告 (短大)

東海学院大学短期大学部 教育研究開発センター

東海学院大学短期大学部では、本学学則第3条に基づき、教育活動の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を公開しています。また、本学科では、「授業の内容及び方法の改善」を目的として、学生による授業アンケートを実施しています。毎年アンケート項目の点検・改善を行いながら、無記名方式により実施し、授業評価に加えて学生自身の学習への取り組みについても把握しています。

令和7年度は、担当する科目の授業種別(講義・演習・実験・実習)ごとに、各教員が1科目以上を指定して調査を実施しました。学期内での授業改善につなげるため、前期・後期ともに適切な時期に調査を行い、その結果をもとに各教員が授業改善に取り組みました。

回答率については、前期は専任教員担当科目 87.8%、非常勤教員担当科目 89.6%、後期は専任教員担当科目 83.2%、非常勤教員担当科目 83.5%であり、年間を通して高い回答率を維持しました。学生の授業への関心の高さと、本取り組みへの理解・協力がうかがえます。

授業アンケート回答学生数および回答率

【令和7年度前期】

表 1 専任教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	8	18.9	90.4%
演習	13	15.1	86.0%
実験・実習	0	—	—
全体(計)	21	16.5	87.8%

学生の有効回答数:347

表 2 非常勤教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	7	22.0	91.1%
演習	12	19.5	88.6%
実験・実習	0	—	—
全体(計)	19	20.4	89.6%

学生の有効回答数:388

【令和7年度後期】

表 3 専任教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	9	16.1	81.9%
演習	15	20.3	83.5%
実験・実習	1	1.0	100.0%
全体(計)	25	18.2	83.2%

学生の有効回答数:456

表 4 非常勤教員担当の授業

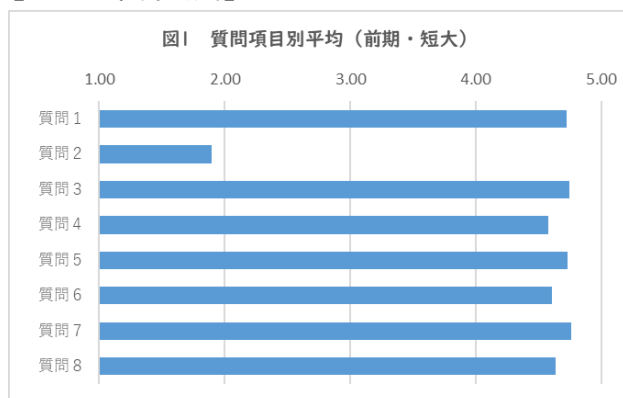
授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	2	5.0	100.0%
演習	10	17.7	82.7%
実験・実習	0	—	—
全体(計)	12	15.6	83.5%

学生の有効回答数:187

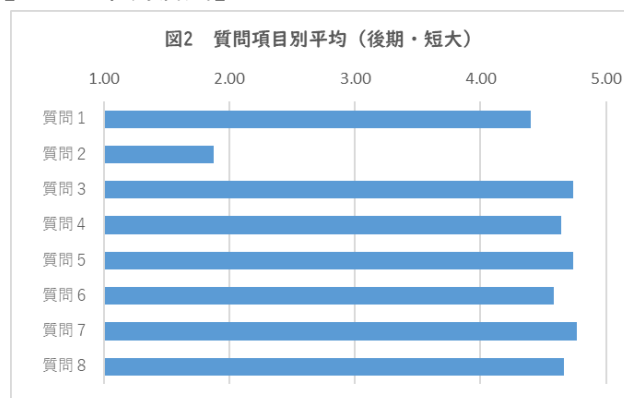
質問項目別の結果を見ると、授業における重要ポイントの提示、学習意欲の喚起、聞き取りやすさ、質問しやすい環境づくり、到達目標の達成見通しなど、多くの項目で概ね良好な評価が得られました。一方で、授業時間外の学習時間については引き続き検討課題であり、主体的な学習習慣の形成に向けた工夫が求められます。

専任教員担当の質問項目別平均

【令和7年度前期】



【令和7年度後期】



質問項目（図1、図2）

質問1:授業欠席回数

質問2:予習復習などに費やした時間

質問3:授業で重要ポイントが示されていたか

質問4:より学習したいと感じたか

質問5:聞き取りやすかったか

質問6:質問や意見が述べられやすかったか

質問7:授業内容は、自分にとって、有用性が感じられましたか

質問8:この授業の到達目標を達成できると思いますか

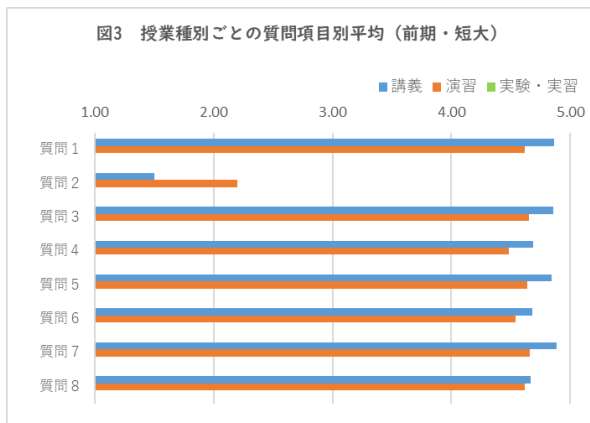
注) 質問1および質問2について、欠席回数や学習時間を具体的に尋ねた項目であり、5が最も望ましい(欠席が少ない、学習時間が長い)。

専任教員担当の授業種別ごとの質問項目別平均を見ると、講義・演習・実験実習のいずれにおいても、質問3から質問8の各項目で概ね高い評価が得られており、授業内容や指導方法について学生から一定の満足が得られていることがうかがえます。特に、授業の重要ポイントの提示や授業内容の有用性、到達目標の達成見通しに関する評価は安定して高い水準でした。

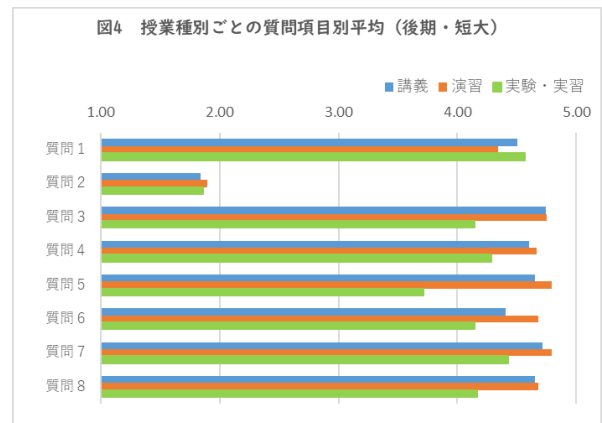
一方で、「予習復習などに費やした時間」は他項目と比較して低い傾向がみられ、授業時間外学習の促進に向けた工夫が今後の課題であると考えられます。今後も、学生からの意見を授業改善に活かし、教育内容および指導方法の充実を図ることで、教育の質保証と学修成果の向上につなげていくことが期待されます。

専任教員担当の授業種別ごとの質問項目別平均

【令和7年度前期】



【令和7年度後期】



対面授業に関する質問項目（図1、図2）

質問1:授業欠席回数

質問2:予習復習などに費やした時間

質問3:授業で重要ポイントが示されていたか

質問4:より学習したいと感じたか

質問5:聞き取りやすかったか

質問6:質問や意見が述べられやすかったか

質問7:授業内容は、自分にとって、有用性が感じられましたか

質問8:この授業の到達目標を達成できると思いますか

注) 質問1および質問2は欠席回数や学習時間を具体的に示した選択肢を用意した項目である。値の大きい方が望ましい方向(欠席が少ない、学習時間が長い)である。